# 県内初!!　新しい学びのカタチ
# 「あかがねラーケーション」
## ～４月、本格始動～

学校教育課　☎ 65-1301

## なぜ導入されたの？

本市は、他の地域に比べて製造業やサービス業が盛んな地。交代勤務や祝休日勤務で、休日が平日になるため、子どもと一緒に過ごす時間がとれないという人も少なくありません。

そこで令和７年４月より、市内の小・中学生を対象に、家族の学びとふれあいの機会を増やすため、あかがねラーケーション制度を試行していましたが、いよいよこの４月、本格始動します。１月の調査では、４月～ 12 月の９カ月間で、1,699 人（20.4%）に利用していただきました。

ラーケーションとは、「ラーニング（学習）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語です。

詳細はこちら
学校教育課 HP

## あかがねラーケーションとは？

★保護者などの平日休みに合わせて、子どもが保護者などと一緒に校外で学び・活動ができる制度です。

★活動の場は、市内外を問いません。
（活動例：自然観察、体験活動、スポーツ・アウトドア、施設見学、芸術鑑賞など）

★届け出をすることで、年度内に３日間（連続可）取得することができ、取得した日は、欠席とはならず「出席を要しない日」になります。取得の際は、学校行事などに配慮ください。

※保護者などとは原則保護者ですが、保護者が同意した大人（祖父母や成年年齢に達している親戚など）を含みます。

## 利用の流れ

①家族で計画（日程、場所、内容）を立てる。
単なる休日ではないことをご理解のうえ、「保護者などと一緒に体験や学びを行う」計画を立ててください。

②学校に「届け出シート」を提出する。
原則として取得日の１週間前までに学校へ提出してください。
**※届け出シートは、各学校で配布するほか、市 HP（学校教育課）からダウンロード・印刷が可能です。**

③当日は、保護者などと一緒に体験や活動を行う。
学校を離れ、この日しかできない貴重な体験を親子で楽しみましょう。
**※休んだ分の授業内容は、家庭学習（自習）などでしっかり補完してください。**

## 片山さんちの学びのカタチ

昨年５月にラーケーション制度を利用して、家族で東京を訪れた片山さんファミリーを取材しました。両親共働きで３人の予定がなかなか合わない中、この制度を使うことで子どもとの充実した時間を過ごすことができたそうです。

初めて乗った飛行機では、客室乗務員とたくさん話ができました。飛行機には客室乗務員や操縦するパイロットがいることも教えてもらいました。羽田空港のバス待合所では、初めて会ったおばあちゃんと交流するなど度胸がついてきました。

テーマパークでは、国内トップクラスと言われるホスピタリティを体感しました。たとえば、小雨の中、スタッフの皆さんが座席を拭いたり、通路をモップ掛けしたりしていたとき。本当に楽しそうに、踊りながら取り組む姿勢を目の当たりにして、こちらも楽しい気持ちにしてもらいました。アトラクションに乗ったときは、「この乗り物も誰かが動かしている、仕事としてやっているんだ」と考えられるようになりました。飛行機での学びのおかげで、職業への探求心が増したようです。

娘は絵を描いたり創作することが好きなのですが、華やかな世界に刺激を受け、描く絵の幅が広がった気がします。色使いもスキルアップし、表現力が豊かになってきました。

体験したいことを事前に調べて、家族でしっかり計画を立てたことで、学びの質がアップしたと思います。

【３人家族】
片山　勇輝さん（パパ）
　　　明子さん（ママ）
　　　千晶さん（金子小３年生）

客室乗務員から手書きのメッセージ付き絵葉書をもらった千晶さん

## ラーケーションのこれから

１月に実施した保護者向けのアンケートでは、来年度以降も制度の実施を希望すると答えた人が全体の約７割を占めました。また、「家族の絆が深まった」「平日休みの仕事でも子どもと過ごせた」といった満足の声があがる一方で、「制度を知らなかったのでもっと周知してほしい」「紙での届け出は、手間がかかるのでデジタル化してほしい」などの意見があり、今後も運用しながら改善や検討をしていきます。

この制度により家族の絆が深まり、子どもにとっては、さまざまな活動による体験や出会いが知識や見聞の広がりにつながり、新たな発想を生み出す力になるとともに、保護者にとってもワーク・ライフ・バランスの充実が図られることを期待しています。

学校教育課
堀内朱華